

全身麻酔に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター麻酔科では、「手術中に発生した昇圧剤抵抗性の低血圧と血中トリプターゼの値との関連とその後の転帰についての研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、手術を受けられた患者さんの血液検査の結果を調べて、手術中のアレルギーの発生とその後の影響を明らかにすることです。

この研究のため、2014年6月30日より2024年6月30日までに全身麻酔で手術を受けられた方の診療録、検査データ、血液等の調査を行います。対象となるのは手術中、手術後に血中トリプターゼの血液検査を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（血中トリプターゼの採血結果、手術中の投与薬剤、術後の転帰、アレルギー歴など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年8月

研究責任者

東京医療センター 麻酔科

肌附 里乃

連絡先 03-3411-0111(代表)